

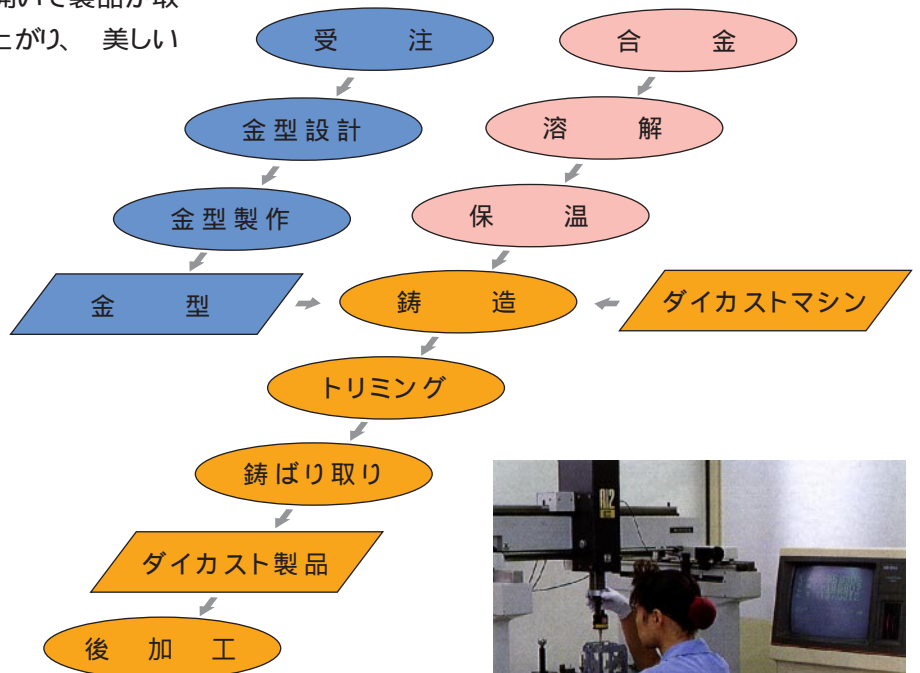
# 革新的な鑄造技術、ダイカストの製造工程

ダイカストは、原材料である合金、ダイカストマシン、<sup>かながた</sup>金型の3つの要素からなっています。溶けた合金 = 溶湯<sup>ようつう</sup>を金型の中に高圧を加えて流し込む方法で、原材料から製品までの工程が一番短いといわれています。ダイカストマシンには<sup>こていがた</sup>固定型、<sup>かどうがた</sup>可動型という2つの金型が取り付けられており、圧入された溶湯がすばやく固まると、可動型が開いて製品が取出されます。精密な寸法、正確な仕上がり、美しい

表面、優れた強度を持つ複雑な形状の製品を大量生産できるため、その価値は高く評価され、金属加工業界の中で重要な位置を占めています。



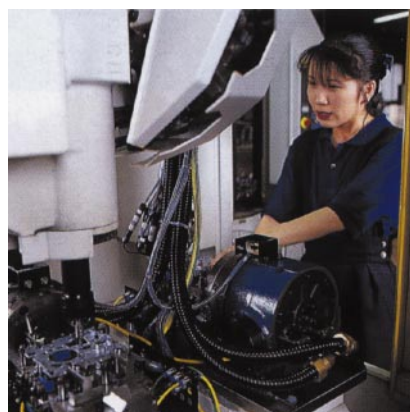
合金塊



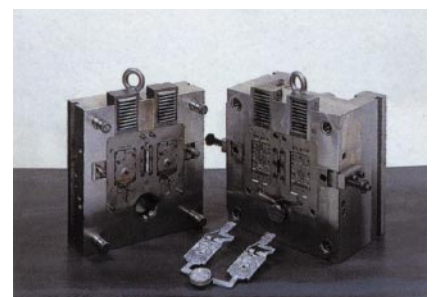
寸法検査



鑄造



機械加工



金型